

## 地域公共交通確保維持改善事業（新モビリティサービス推進事業）・事業評価総括表

令和7年2月25日  
中国運輸局

評価対象事業名：マイナンバーカード活用型交通サービス導入支援事業

①補助事業者	②事業概要	補助事業者における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		③事業実施の適切性	④目標・効果の達成状況	⑤事業の今後の改善点	評価結果		
広島電鉄株式会社	<p>【事業の実施概要】 新乗車券システム「MOBIRY DAYS」の専用ICカードとマイナンバーカードと連携させたうえで、当該専用ICカードを使用して阿戸線を利用した際にバス運賃の町民割引（半額）を適用する。</p> <p>【実証実験の目的】 公共交通の利便性向上、住民の外出機会創出、マイナンバーカード普及率の上昇、阿戸線における利用者ニーズ等の把握</p>	A	<p>交付申請後、システム導入や新乗車券システム「MOBIRY DAYS」への事前登録手続きを開始した後、令和6年2月1日より阿戸線におけるマイナンバーカードとMOBIRY DAYSの連携施策を開始した。</p>	C	<p>【交付申請時の令和6年2月目標値】 ①1カ月あたりの利用者数 2,138名（前年同月比1.10倍） ②マイナンバーカード普及率 92.1%（同年前月比+3.0%）</p> <p>【令和6年2月の実績】 ①1カ月あたりの利用者数 2,010名（前年同月比1.03倍） ②マイナンバーカード普及率 89.7%（同年前月比+0.2%）</p>	<p>アンケートの回答を通して、この度のマイナンバーカード連携サービスをはじめとした公共交通の運賃割引施策が利用者の移動意欲を後押しし、住民の外出機会の創出に貢献できる可能性を認識した。目標値は達成していないが、利用状況や課題等を分析し、阿戸線に限らず他地区・他路線で同様の取り組みを実施する際に活用する。</p>	<p>【評価できる点】 目標値は達成できなかったが、マイナンバーカード連携サービスにより、利用者の移動意欲向上させ、住民の外出機会の創出に貢献しようとした取組を実施した点について、評価できる。</p> <p>【期待する取組】 今後も利用者ニーズや課題を分析し、他地域にも展開でき、継続性のある取組を実施することを期待する。</p>

## 地域公共交通確保維持改善事業（新モビリティサービス推進事業）・事業評価総括表

令和7年2月25日  
中国運輸局

評価対象事業名： 新型輸送サービス導入支援事業（AIオンデマンド交通の導入）

①補助事業者	②事業概要	補助事業者における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考		
		③事業実施の適切性	④目標・効果の達成状況	⑤事業の今後の改善点	評価結果			
津山市	津山市の中山間地域（加茂・阿波・勝北・久米地域）に利用者の自宅付近と定められた目的地との間を、予約に応じて運行するドアツードア型での運行するAIデマンド交通を導入する。当該地域については、公共交通として地域巡回バス等が運行しており、代替交通としてAIデマンド交通を導入し、効率性や利用者数減少等の課題解決を図るとともに利用状況等を検証し、令和6年度中の本格運行の実施を目指すもの。地域内の目的地までの2次交通のアクセスが改善され、利用者にとっては、路線バス等の定時性に影響されることなく、任意の時間に目的地までの移動が可能となる。2次交通のアクセスが改善されることで、路線バス・JR・タクシー等への乗り継ぎがしやすくなり、既存の公共交通利用者の増加も見込め、公共交通との親和性向上が想定される。令和6年3月から実証実験を開始し、令和6年10月から本格運行を実施している。	A	加茂・阿波・勝北・久米地域において公共交通のカバー率が100%となったことで、地域住民や地域外から訪れた観光客等の公共交通利用の利便性向上や2次アクセス改善につながっている。従前の地域巡回バス等の非効率な運行から、AIを活用した予約に応じた運行形態に変更したことから、効果的かつ効率性の高い運行を行うことができ、地域住民等の移動手段として利用されている。	A	令和5年度事業における目標値については、事業開始が令和6年3月からのため設定していないが、379人の利用があった。これは、令和5年3月地域巡回バス等利用者数286人の1.3倍であり、利用者が増加している。また、令和6年度事業におけるも公表値については、令和4年度地域巡回バス等利用者数4,353人の1.4倍（中間増加率）とし、令和6年度AIデマンド交通の利用者数6,094人に設定。事業の結果としては、令和6年4月～12月4,326人（1月平均481人）であり、目標値の6,094人に概ね近い利用者数となることが想定されている。	「地域外の医療機関にバスや鉄道に乗り継ぐことなく直接行きたい（現在は加茂・阿波・勝北・久米地域内限定運行）」「当日予約ができるようにしてほしい（現在は前日予約）」等といった意見があり、現状の課題として捉えている。この課題については、交通事業者や関係機関等との調整も必要となるため、慎重に検討していく必要がある。また、利用者増加のため、AIデマンド交通乗り方教室を各地域で開催するとともに利用方法の説明動画を作成・周知し、利用促進を図っている。	【評価できる点】 地域循環バスが運行している地域に、代替交通としてAIデマンド交通を導入し効率性や利用者数減少等の課題解決を図るとともに、地域住民や観光客等の公共交通の利便性向上や2次アクセスの改善につながっている点について評価できる。 【期待する取組】 今後も周知活動により、一層の利用促進や利便性向上が図られることを期待する。	

## 地域公共交通確保維持改善事業（新モビリティサービス推進事業）・事業評価総括表

令和7年2月25日  
中国運輸局

評価対象事業名：地域交通キャッシュレス決済導入支援事業

①補助事業者	②事業概要	補助事業者における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		③事業実施の適切性	④目標・効果の達成状況	⑤事業の今後の改善点	評価結果		
広島電鉄株式会社	<p>【事業の実施内容】 「MOBIRY DAYS」を2024年9月に全線導入することを目指し、2023年度以内に車載器を当社のバス94両に設置する。</p> <p>【結果】 計画どおり。94両の車両に車載器の設置を完了した。</p>	A	<p>交付申請時の計画どおり、2023年11月から12月で車載器の設置を完了した。</p>	A	<p>交付申請時の計画どおり、当社バス94両に車載器の設置を完了した。</p> <p>今後も補助事業を実施する際には、適切な事業実施を徹底したい。</p>	<p>【評価できる点】 持続可能な公共交通体系の構築を目的とした事業を実施している点と計画どおりに車載器を導入、使用している点について評価できる。</p> <p>【期待する取組】 今後もさらなる利便性向上に資する取組に期待する。</p>	